

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	特定疾患調査解析システム開発等経費		事業開始年度	平成14年度	作成責任者	
担当部局庁	健康局		担当課室	疾病対策課	疾病対策課 難波 吉雄	
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>特定疾患治療研究対象者の申請の際に提出される臨床調査個人票(診断書)のデータを利用し、研究班における研究の促進を図る。 また、認定の際に特定疾患調査解析システムを参考に利用し、適正かつ全国統一的な判定、審査業務及び認定業務の省力化を図る。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>都道府県の特定疾患対策協議会において、特定疾患調査解析システムを用いた特定疾患の一次判定を行うとともに、難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究班に対し臨床データの提供を行う。</p>					
実施状況	<p>平成21年度は特定疾患調査解析システム上で認定基準、臨床調査個人票に変更があった3疾患の改修を実施。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5	5	5	32	8
	執行額	3	5	2		
	執行率	60	100	40		
	総事業費(執行ベース)	3	5	2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>支出先・用途の把握については、官庁会計システム(アダムス)により把握している。 システム改修内容は、システム画面上で動作確認することにより把握している。</p>				
	見直しの余地	<p>都道府県から送付される臨床データは本システムを介して国に集約された上、難治性疾患克服研究事業の研究班により毎年使用されており、特定疾患の研究や実態把握に貢献している。 なお、難病対策については、副大臣を座長とする「新たな難治性疾患対策の在り方検討チーム」において、対策全体の抜本的な見直しが行われていることから、その結果を事業に反映させる必要がある。</p>				
予算チームの監視・効率化	<p>事業の必要性の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な予算執行に努めること。</p>					
補記	<p>民主党政策集INDEX2009に「難治性疾患対策」の記載あり。</p>					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

厚生労働省  
2百万円

〔特定疾患調査解析システムの保守・改修  
事業者の決定、契約締結等〕



【一般競争入

A.(株)a  
2百万円

〔特定疾患調査解析システムの保守・改修〕

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)a			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
改修費	特定疾患調査解析システムの機能改修等一式	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0